

令和3年度地震・津波防災訓練 (内閣府・北海道・鹿部町)

実施報告書 (概要版)

北海道鹿部町について

鹿部町は、北海道の南端、渡島半島の北東部に位置する渡島総合振興局管内の自治体である。地理的には、太平洋内浦湾に面し、北部には活火山である北海道駒ヶ岳(標高1,131m)が存在する。基幹産業は漁業で、町内には3つの漁港を持つ。温泉も多く、全国でも珍しい間欠泉が存在する。

北海道駒ヶ岳は、全国でも活動が活発な火山の一つで、近代では、1929年(昭和4年)に大規模な噴火を起こし、平成8年から平成12年にかけても計8回の小噴火が発生し、鹿部町で想定される大規模災害として認識されている。

また津波災害は、平成23年の東日本大震災を契機に、平成24年に北海道が想定した最大規模の地震による津波を想定し、津波ハザードマップを作成して、北海道駒ヶ岳の噴火災害を想定した避難訓練と隔年で、町主催の津波避難訓練を実施してきた。この度の避難訓練は、2021年に北海道から新たに公表された日本海溝を震源とする津波想定が、これまで想定された津波より3m高く、浸水域が拡大することから、町民の危機意識への啓発を強化し、特に、避難場所の変更を余儀なくされる町内会地区を対象として、内閣府及び北海道の協力を得て実施した。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震
マグニチュード8クラスの地震 鹿部町の津波の高さは12メートル
- 実施日時：【訓練実施前WS】令和3年10月13日（水）10:00～12:00
※オンライン開催
【シェイクアウト訓練】令和3年11月5日（金）
【避難経路歩き】令和3年12月8日（水）10:00～12:00
【訓練実施後WS】令和3年12月8日（水）13:00～15:00
- 主催：鹿部町、北海道、内閣府
- 参加者数：約210名（シェイクアウト訓練参加者含む）
- 参加機関：鹿部町町内会連合会、※鹿部漁業協同組合、鹿部商工会、鹿部カントリークラブ、鹿部飛行場、幼稚園・小学校・中学校、渡島福祉会 渡島リハビリテーションセンター、鹿部町教育委員会、鹿部消防署
※：以下シェイクアウト訓練のみ参加

訓練の評価

新型コロナウイルス感染症による制約のため、訓練実施前ワークショップをオンライン開催へ変更したが、津波避難経路歩き、訓練実施後ワークショップは現地で開催することができ、住民自らが自助による避難と地区防災計画の作成に向けて考える端緒とすることができた。

防災専門家（アドバイザー）として北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センターの高橋浩晃教授、前 札幌市 危機管理対策室 地域防災担当係長の早川直喜氏を招き、町内からは町内7地区の町内会長及び防災部長に参加いただいた。

訓練実施前ワークショップは、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催となったが、地区防災計画の概要と必要性、鹿部町で想定される災害について両アドバイザーから講話を頂き、アドバイザーから出された課題を参加者が各自持ち帰って考える形式とした。

避難経路歩きは両アドバイザー同行のもと、住民自ら考えた避難場所へのルートを実際に歩きながらルート選定の議論を実施した。訓練実施後ワークショップでは実際に体験した避難経路上の注意点を地図上に落とし込み、見える化した上で垂直避難の是非についても活発な議論を行ない、多くの気づきを得ることができた。

一連の訓練で出された課題は今後地区防災計画を作成する際に反映し、町内会などの単位で住民に周知していくが、その道筋を付けて今回の訓練を締めくくることができた。

10月13日（水）10:00～12:00 訓練実施前ワークショップ（オンライン開催）

オンラインで開催された訓練実施前ワークショップでは、地区防災計画とは何か、鹿部町で過去に起こった災害と今後の被害想定等についてアドバイザーによる講話を実施した。

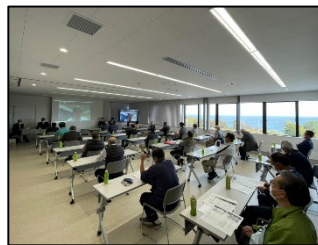
▼アドバイザー講演
（札幌市・早川氏）



▼アドバイザー講演
（北海道大学・高橋教授）



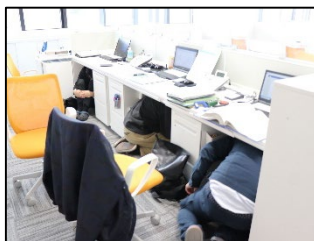
▼オンラインによる講話視聴の様子



11月5日（金）10:00～10:10 実働訓練（シェイクアウト訓練）

鹿部町全域を対象に、地域住民が各々の場所で一斉に安全確保を行うシェイクアウト訓練を実施した。訓練は町広報でも告知され、多くの町民が訓練に参加した。

▼鹿部町役場におけるシェイクアウト訓練の様子



▼鹿部町社会福祉協議会におけるシェイクアウト訓練の様子



12月8日（水）10:00～12:00 避難経路歩き

指定避難場所までの避難経路を実際に町職員・住民がともに歩き、経路上の危険箇所等の検討を実施した。

▼各地点で津波の想定浸水高を確認



▼避難経路の検討



▼冬期等の一時避難が可能な施設を視察



12月8日（水）13:00～15:00 訓練実施後ワークショップ

訓練実施後ワークショップを実施して、避難経路歩きの結果をもとに経路上の危険箇所をマッピングして議論・検討を実施した。

▼主催者挨拶
（鹿部町総務防災課・徳丸照彦防災危険管理官）



▼アドバイザー講演
（北海道大学・高橋教授）



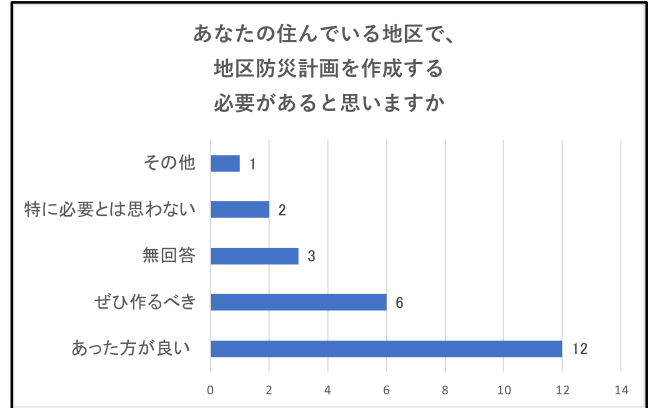
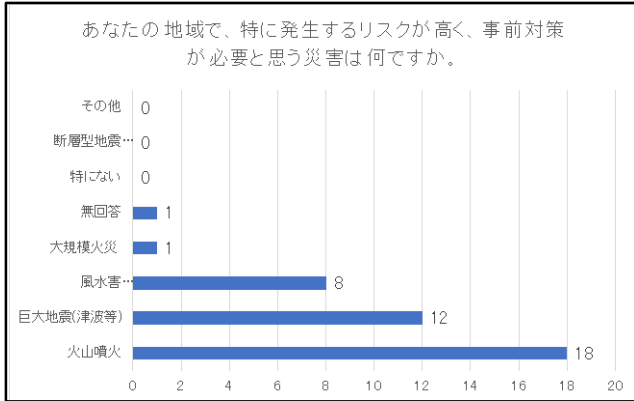
▼ワークショップにおける避難経路上の危険箇所の討議



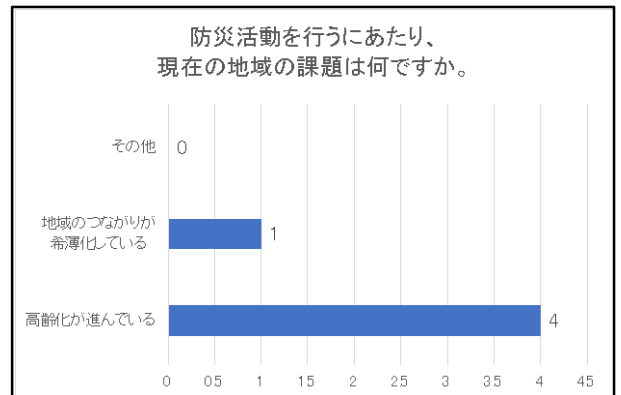
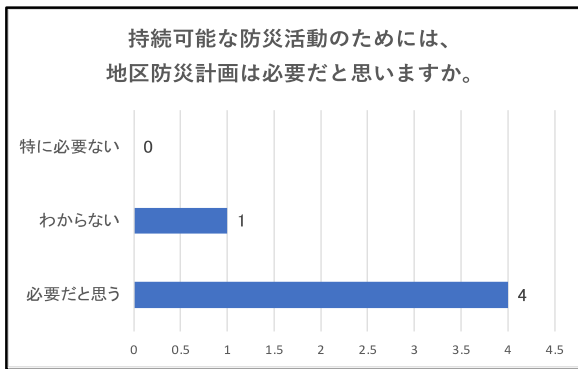
アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

○訓練実施前ワークショップ実施後



○避難経路歩き・訓練実施後ワークショップ実施後



【自由意見】

（津波に関する意見）

○津波の高さに深刻さを感じ、危機感が伝わった。

（地区防災計画に関する意見）

○噴火についてはすでに作成しているが、津波についても作成する必要があると思った。

（防災に関する意見）

○「グラッと来たらすぐ逃げろ」等の家庭掲示用ポスター等のコンパクトな行動啓発もあって良いのではと思った。